

発行 日本労働組合総連合会岩手県連合会
(連合岩手) 発行人 八幡 博文

〒020-0024 岩手県盛岡市菜園一丁目3番6号
TEL(019)625-5505 FAX(019)623-1105
印刷 川口印刷工業(株)

参院選に勝利し、立憲政治を取り戻そう!



「木戸口英司」
さんを推薦決定

安倍政権の暴走が止まりません。「安全保障関連法」の強行的な可決・成立は「立憲主義」「民主主義」に対する挑戦です。また「勤労者・生活者」を犠牲にする「労働者保護ルール」の改悪により「世界一企業が働きやすい国」づくりに突き進もうとしています。

いまこそ、勤労者・生活者の力を合わせて安倍政権の暴走にストップをかけなければなりません。来る参院選は、そのための重要な闘いであり、連合岩手は「木戸口英司」さんを推薦決定し、総力をあげて闘うことを決定しました。

5月25日には平和環境岩手県センター、岩手友愛会とともに「木戸口英司」さんと政策協定を締結し、「安

倍政治NO！」を訴えるすべての力を結集して参院選を闘う意思を明らかにしています。

岩手選挙区「木戸口英司」さんの勝利から「安倍政治 No !!」の声を岩手から広げましょう。

木戸口英司さん略歴

1963 年 花巻市生まれ（52 歳）
1987 年 千葉大学法経学部卒業
1987 年～2003 年 小沢一郎衆議院議員秘書
2003 年～2007 年 岩手県議会議員
2007 年～2016 年 達増拓也知事秘書

「クラシノソコアゲ」を訴え
第87回メーデー岩手県中央集会を開催



「クラシノソコアゲ」 訴える豊巻会長

議長団は青年委員会・中川委員長（左）と女性委員会・森事務局長（右）

2016年5月1日、第87回メーデー岩手県中央
集会を盛岡市・盛岡城跡公園（岩手公園）で開催、
約3,000人が結集しました。

議長団に中川理恵さん（青年委員会委員長）と森美枝子さん（女性委員会事務局長）を選出した後、実行委員会を代表して豊巻浩也実行委員長（連合岩手会長）があいさつ、「クラシノソコアゲ実現のため働く仲間の結集を」と訴えました。

続いて、来賓を代表して岩手労働局・久古谷敏行局長、岩手県・達増拓也知事、盛岡市・谷藤裕明市長、岩手労働協・砂金文昭副会長（労

金岩手県本部長）から祝辞をいただきました。

引き続き、スローガン採択、お楽しみ抽選会、コンクール審査結果発表、メーデー宣言採択を行い、「暮らしの底上げ実現に向けた特別決議」を採択しました。最後に豊巻実行委員長の発案による傘を高く掲げる団結ガンバローで集会をしめくくり、デモ行進を行いました。

当日は、雨天の中、各地域協議会でメーデー地区集会を開催、あわせて「熊本県を中心とする九州地震」へのカンパに取り組みました

下記対象取引のいずれかが
ご契約・お申込みいただいた方に
スマートエマージェンシーボトル
(簡易防災グッズ)をもなくプレゼント!!

対象のお取引

- ① 定期預金(5万円以上の新規お預入れまたは増額書替え)
- ② 積立型預金(財形・エース預金)の年間積立額5万円以上の新規契約または3万円以上の増額契約
- ③ マイプランの新規ご契約
- ④ 無担保ローン(マイカーローン・無担保住宅ローン・教育ローン・フリーローン)の新規ご契約
- ⑤ 住宅ローンの新規お申込み

* ATMやろうきんダイヤレクトでの取引も対象となります。
(店頭でお申し出が必要となります。)

* キャンペーンのプレゼントは、個人のお客さまが対象となります。
* スマートエマージェンシーボトルのプレゼントは1お取引項目につきお一人様1つとなります。
* 対象の商品概要については、店頭に説明書をご用意しております。
* 詳しくはお近くのろうきん窓口にお問合せください。

**サマー
キャンペーン2016**

熊本地震復興支援

キャンペーン期間 **6/1* ▶ 7/31日**

店頭表示金利に
金利上乗せ **年0.10%**

新規で5万円以上の定期預金(1年もの)を
お預入れの方は店頭表示金利に年0.10%
を上乗せします。

- * 毎週お預入れの、増額お預入れは対象外です。
- * 窓口での預入れに限りです。
- * 上乗せ期間は、7/31(金)までとなります。
- * 個人のお取引が対象となります。
- * 1ヵ月お預入れ(1回お預入れ)に限ります。一部対象外となる場合があります。

お客さまの預金が、復興支援につながります!!
上記キャンペーン定期預金にお預入れいただいた
合計金額の0.1%相当額を東北ろうきんが熊本地震
の被災地に寄付します。

※この取組みで、キャンペーン定期預金にお預入れいただいたお客様からの
寄付金額のご負担はございません。



実行委員長あいさつ



暮らしの底上げ実現と 労働者の幸せを願う

実行委員長 豊巻 浩也(連合岩手会長)

ここ盛岡城址・岩手公園にたくさんの皆さんに集まっていただきました。心から感謝申し上げます。「支え合い助け合う心をひとつに力を合わせ、暮らしの底上げを実現しよう!」をスローガンに、第87回岩手県中央メーデーを皆さんの力で開催できたことに感謝し、「働くことを軸とする安心社会」に向けて、さらなる決意を固めたいと思います。

本日は、お忙しい中を、久古谷敏行・岩手労働局長、達増拓也・岩手県知事、谷藤裕明・盛岡市長をはじめ、日頃お世話になっている政党代表・推薦県議の皆さん、労働団体・労働福祉団体の皆さん、退職者連合会、連合岩手顧問の皆さんに、来賓としてご参加いただきました。誠にありがとうございます。

またも自然の厳しさに遭遇しました。「熊本県を中心とする九州地震」です。4月14日に発生し、現在も断続的に続いている大地震。亡くなられた方々に心から哀悼の意を表します。負傷された被災者や避難生活を余儀なくされている方々にお見舞い申し上げます。この集会において「救援カンパ」を実施し、連合本部と連携した支援行動を展開したいと思います。

東日本大震災から5年が経過しました。いまだに数多くの被災者が生業や雇用を失ったまま、生活基盤が回復していません。岩手県内でも、2万人を超す人々が仮設住宅での生活を余儀なくされています。遅れている住宅建設や街づくりを加速する必要があります。連合は「雇用の再生なくして復興・再生なし」という立場で、政策協議や要請を行うとともに、早期の復興・再生の実現に向け、取り組みを一層推進していきます。

アベノミクスは、一部の企業や投資家・株主には恩恵を与えたものの、中小・零細企業・地域経済と私たちの生活を圧迫し、日本社会の格差の拡大と固定化を助長させました。私たちは、クラシノソコアゲ、すべての働く

仲間の処遇改善、底上げ・底支え・格差是正で経済の好循環実現を訴え、2016春期生活闘争に取り組んでいます。先週段階での集計で、岩手県内の回答妥結賃上げ率は、1.98%です。この成果を地場・中小組合、未組織労働者への波及を図るとともに、地域別最低賃金を引き上げ、地域格差を是正しなければなりません。岩手で働くことに誇りを持ちながら、若い仲間との連携を強め、ワーク・ライフバランス社会の実現、子育て・医療・介護・奨学金問題など社会的セーフティネットの拡大・強化による将来不安の解消に連合は取り組んでいます。心ひとつに力を合わせ、みんなの暮らしの底上げ実現のため、働く仲間のさらなる結集を呼びかけます。

安倍政権は、働く者を犠牲にした「成長戦略」を進めています。長時間労働を助長し、働く者の命と健康を脅かすワークルールの改悪に私たちは反対します。働く人々が健康を保ち、事故の起きない安心・安全な職場環境を私たちは求めます。行き過ぎた規制緩和や企業利益のために規則を破る「ブラック企業」とは、対峙します。

今年の夏の参議員選挙は、「働く人が報われる政治を取り戻す絶好のチャンスです。暴走する安倍政権で国民生活は荷崩れを起こしています。この暴走を止めるため、夏の参議院選挙においては、比例区・選挙区においてすべての推薦候補者の勝利をめざします。政治は私たちの暮らしに直結しており、誰一人として政治と無関係でいることはできません。民主主義に「お任せ」はあり得ないことを職場の隅々にまで浸透させ、政治意識向上の取り組みを地域でも進めます。

メーデーの始まりは、「8時間は労働に、8時間は眠りに、そしてあとの8時間はわれわれの自由に」。みんなの暮らしの底上げ実現、すべての労働者の幸せを願い、あいさつとします。第87回メーデー万歳。労働者の団結に万歳

2016年度連合岩手と 岩手大学との提携講座

- 第1回(4月18日) オリエンテーション、岩手大学の皆さんに学んでほしいこと(河合准教授、連合岩手事務局長・八幡博文)
- 第2回(4月25日) 働くときに知っておきたい労働法(岩手労働局監督課長 上条訓之氏)
- 第3回(4月25日) 職場のトラブル解決には(岩手県労働委員会会長・小野寺正孝氏、委員・鈴木圭氏、委員・藤原俊則氏)
- 第4回(5月9日) 公正な賃金と処遇改善に向けた取り組み(連合岩手副事務局長・原利光)
- 第5回(5月16日) 青年女性労働者がめざす連合運動(連合岩手青年委員長・中川理恵)
- 第6回(5月23日) 政策・制度改善に向けた取り組み(連合岩手副事務局長・大概忍)
- 第7回(5月30日) 公務労働者の現状と課題(連合岩手執行委員・澤瀬清巳)
- 第8回(6月6日) ものづくり産業で安心して働ける職場づくりの取り組み(連合岩手副会長・千葉清人)
- 第9回(6月13日) 非正規労働者の処遇改善と組織化に向けた取り組み(連合岩手副会長・石川昌平)
- 第10回(6月20日) 岩手の中小企業の現状と課題(岩手県中小企業家同友会事務局長・菊田哲氏)
- 第11回(6月27日) 基調講義1(教育文化協会理事長 南雲弘行)
- 第12回(7月4日) 労働者のための助け合い事業(東北労働金庫・全労済岩手県本部)
- 第13回(7月11日) 基調講義2(沖縄大学法経学部教授 春田吉備彦氏)
- 第14回(7月25日) 基調講義3(連合岩手会長・豊巻浩也)

連合岩手の取り組み



電話相談に対応する女性委員会の森事務局長

STOPセクハラ・パワハラ・マタハラ 女性委員会を中心に「女性のた めの全国一斉労働相談」を実施

連合には全国各地から多くの労働相談が寄せられていますが、近年は特にセクハラ・パワハラ・マタハラなど職場内にける嫌がらせや差別に関する相談が増加しています。

このような状況をふまえ、連合は全国一斉の取り組みとして「女性のための全国一斉労働相談～STOPセクハラ・パワハラ・マタハラ」を5月19(木)と20日(金)に実施し、連合岩手も女性委員会を中心に電話による労働相談に取り組みました。

連合岩手には、2日間で職場のトラブルなどを中心に8件の相談があり、女性委員会の役員と連合岩手の道又アドバイザーが相談に対応しました。

全労済では 自賠責共済を取り扱っています!

自動車損害賠償責任共済

ご契約車両を運転中に、他人にけがをさせたり、死亡させたりした場合の対人賠償事故を補償します。

自賠責共済とは?

自動車損害賠償保障法によって道路を走るすべての自動車(二輪車を含む)、原付自転車に加入が義務づけられている共済(保険)です。

死亡	最高 3000万円
けが	最高 120万円
後遺障害	程度に応じて 4000万円～75万円

もし自賠責共済(保険)に加入していないと?

未加入で運行した場合、法律により罰せられます。

6ヵ月の範囲内の **免許停止(違反点数6点)**

1年以下の懲役 または 50万円以下の罰金

原付・バイクをお持ちの方は特に注意!

車検制度のない原付・250cc以下のバイクは自賠責共済(保険)の有効期限切れに特に注意が必要です。今一度、有効期限のご確認を!

20 満期年
10 満期月

マイカー共済とあわせてのご加入をおすすめします。

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。

全労済岩手県本部(岩手県労働者共済生活協同組合)

- 盛岡支所 〒020-0026 盛岡市開運橋通1-1
- 北上支所 〒024-0061 北上市大通り2-11-23北上大通ビル1階
- 一関支所 〒021-0031 一関市青葉1-8-20鈴木ビル1階
- 釜石支所 〒026-0034 釜石市中妻町1-15-8

保障のことなら全労済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

岩手大学の担当教員・河合准教授が概要説明



八幡事務局長が連合について説明



連合岩手と岩手大学 2016年度提携講座を開講

全学共通単位認定科目として実施

連合岩手と岩手大学は「2016年度連合岩手と岩手大学との提携講座」(担当教員:河合准教授)を4月18日に開講しました。

ブラック企業や様々な「ハラスメント」など、働く者を取り巻く環境は厳しい状況にあります。そのため、若年層の早期離職や、過重労働などによる心身の健康被害・過労死などが社会的な問題になっています。

連合岩手は、このような状況をふまえ、これから就職する学生たちに、ワークルール、労働基本権、労働組合、あるいは現実に起きている労働問題や労働者が向き合う課題など「働くということ」を学ぶ場を提供する取り組みとして、昨年度から「連合岩手と岩手大学との提携講座」を開講しました。

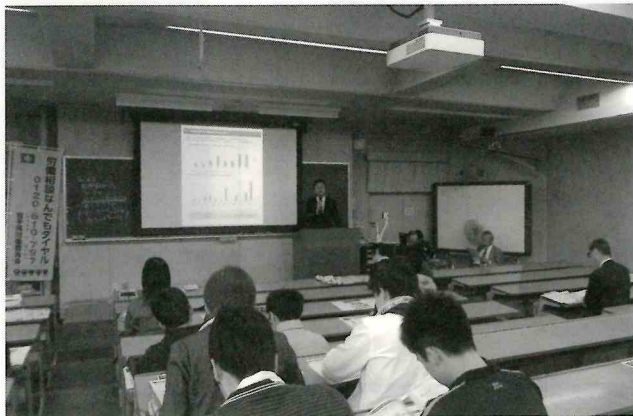
4月18日は、担当教員である河合准教授から講座の概要の説明を行い、連合岩手の八幡事務局長が連合について講義を行いました。

講座は7月30日まで全15回行われ、連合岩手役員のほか岩手労働局、岩手県労働委員会、東北労働金庫、全労済、岩手県中小企業家同友会からも講師を派遣していただき、さらに6月27日には教育文化協会から南雲弘行理事長が来県し基調講義を行います。

今後とも連合岩手は、岩手大学との提携講座の2017年度以降の継続開設や他大学での開設をはじめ、就職前の学生への「働くこと」を学ぶ機会の提供の取り組みを進めていきます。



中川青年委員長の講義



鈴木副会長は労働委員会委員として講義



コンクール最優秀賞はJR総連が受賞



久古谷局長のあいさつ



達増知事のあいさつ



谷藤市長のあいさつ



砂金本部長のあいさつ



豊巻実行委員長が力強くガンバロー



集会後3コースに分かれて市内をデモ行進

メーデー宣言

本日、私たちは第87回メーデー中央大会を開催した。

4月14日以降、熊本県で発生した巨大地震は、継続的かつ広範囲に甚大な損害を与えた。一連の地震災害で尊い命を失われた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、被害に遭われた方々、避難を余儀なくされた方々にお見舞いを申し上げる。私たちは自然の驚異と向き合いつつ、お互いが力を合わせ、支え合い助け合い生きていかなければならない。あの東日本大震災から5年が経過したが、今もなお多くの方々が心の苦しみを抱え、不自由な生活を強いられている。

連合は、被災地の復興・再生を引き続き全力で支えていくとともに、震災を決して風化させないように、被災地はもとより、全国の仲間と連携した取り組みを継続・強化していく。

メーデーは労働者の国際連帯の日である。私たちは、国際労働組合総連合(I T U C)と連携し、戦争や紛争、テロなど世界平和を脅かす要因ともなる、貧困や飢餓、環境破壊や人権侵害の撲滅に立ち向かい、すべての人々にディーセント・ワークを実現していかなければならない。

一方、国内においては、働き方、性別、企業規模、地域の違いなどによる格差や低所得、将来不安を原因とする長期デフレからの脱却が喫緊の課題である。これらの課題を克服し、経済の好循環を実現させるために、2016春季生活闘争を通じたすべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」の実現をはかる。加えて、雇用、労働、福祉など政策・制度の実現を通じた雇用の安定と質の向上や、子育て、医療、介護などの社会的セーフティネットの拡大・強化による将来不安の解消、さらには労働組合づくりを通じた集团的労使関係の拡大を進めなければならない。

今こそ、暮らしの底上げが必要である。パートや派遣、有期などで働く非正規労働者や中小・地場企業で働く労働者、未組織労働者と手を携え、すべての働く者・生活者を代表し、志を同じくする関係団体やNPO・NGOとの連携を深め、「働くことを軸とする安心社会」をつくろう!

支え合い 助け合う 心ひとつに 暮らしの底上げを実現しよう

9会場でメーデー地区集会を開催「熊本県を中心とする九州地震」支援カンパを実施



花巻北上

午前9時30分から北上市「さくらホール」で集会を開催、約700名が参加しました。プラカードコンクール・アピールタイムでは、各単組が「格差是正」「熊本・大分地震被災地支援」などをアピールしました。



気仙

午前9時30分から大船渡市「メリアホール」で開催、約300名が参加しました。子ども対象の「袋詰めイベント」やプラカードコンクールを実施したほか、雨天の中、デモ行進を行いました。



宮古

午前10時から宮古駅前西広場で開催、約170名が参加しました。今年も「復興がんばっぺ〜す」と題して、宮古地区の暮らしの安心・安全、生活向上をアピールし、雨天の中を宮古市内をデモ行進しました。

胆江

午後1時30分から奥州市「Zホール」で集会を開催、約1,000名が参加しました。
プラカードコンクール、お楽しみ抽選会、フリーマーケットなどで盛り上がりました。



釜石

釜石・遠野地協は釜石と遠野の2ヶ所で開催しました。
釜石地区集会は午前11時から「イオンタウン釜石」で開催し、約150名が参加しました。
集会では、お楽しみ大抽選会などで盛り上がりました。



久慈

県北地協は久慈市と二戸市の2ヶ所で開催しました。
久慈地区集会は、午前10時から久慈市「九戸教育会館」で開催し、約70名が参加しました。
プラカードコンクールやお楽しみ抽選会で盛り上がりました。



一関

午後2時から一関市文化センターで開催、約300名が参加しました。初の屋内開催で、構成組織代表者が単組紹介をしながら抽選会を実施するなど、新たな取り組みで盛り上がりました。



遠野

遠野地区集会は、午後2時から遠野市「稲荷下屋内運動場」で開催、約100名が参加しました。
集会では、抽選会などを実施、雨天の中をデモ行進も行いました。



二戸

二戸地区集会は、午前10時から二戸市「シビックセンター」で開催、約120名が参加しました。集会前に推薦議員による街頭演説を行ったほか、集会ではバルーンアートショーも行いました。

